

（第111回社会保障審議会介護給付費分科会・参考資料2-8（H26.10.22））
 （第6回平成26年度介護報酬改定検証・研究委員会・参考資料7（H26.10.16））
 （第104回社会保障審議会介護給付費分科会・参考資料6（H26.7.23））
 （第5回平成26年度介護報酬改定検証・研究委員会・参考資料6（H26.7.16））
 （第99回社会保障審議会介護給付費分科会・参考資料4（H26.3.27））
 （第4回平成25年度介護報酬改定検証・研究委員会・参考資料4（H26.3.26））
 （第96回社会保障審議会介護給付費分科会・参考資料3（H25.9.11））
 （第3回平成25年度介護報酬改定検証・研究委員会・参考資料3（H25.9.4））
 （第2回平成25年度介護報酬改定検証・研究委員会・資料4（H25.5.31））
 （第90回社会保障審議会介護給付費分科会・資料1（H24.5.17））
 （第1回平成24年度介護報酬改定検証・研究委員会・資料2（H24.4.26）一部修正）

平成24年度介護報酬改定検証・研究委員会における調査の実施について（案）

1 目的

平成24年度の介護報酬改定の効果検証や「平成24年度介護報酬改定に関する審議報告」において、検討が必要とされた事項等に関する研究を行うための資料を得ることを目的とする。

2 「平成24年度介護報酬改定に関する審議報告」において検討が必要とされた事項

- 認知症にふさわしいサービスの提供を実現するため、調査・研究等を進め、次期介護報酬改定に向けて結論が得られるよう議論を行う。
- 介護サービスの質の向上に向けて、具体的な評価手法の確立を図る。また、利用者の状態を改善する取組みを促すための報酬上の評価の在り方について検討する。
- ケアプランやケアマネジメントについての評価・検証の手法について検討し、ケアプラン様式の見直しなど、その成果の活用・普及を図る。また、ケアマネジャーの養成・研修課程や資格の在り方に関する検討会を設置し、議論を進める。
- 集合住宅における訪問系サービスの提供の在り方については、適切に実態把握を行い、必要に応じて適宜見直しを行う。
- サービス付き高齢者向け住宅や、定期巡回・随時対応サービス、複合型サービスの実施状況について、適切に実態把握を行い、必要に応じて適宜見直しを行う。
- 介護事業所、介護施設における医師・看護職員の配置の在り方については、医療提供の在り方の検討と併せて、適切に実態把握を行い、必要に応じて見直しを行う。
- 生活期のリハビリテーションの充実を図るため、施設から在宅まで高齢者の状態に応じたリハビリテーションを包括的に提供するとともに、リハビリ専門職と介護職との連携を強化するなど、リハビリテーションの在り方について検討する。さらに、リハビリテーションの効果についての評価手法について研究を進める。
- 予防給付は、介護予防や生活機能の維持・改善に効果があるものに更に重点化する観点から、効果が高いサービス提供の在り方について、引き続き検証・見直しを行う。

3 調査項目（案）

（1）平成24年度改定効果検証

【平成24年度調査実施】

① サービス付き高齢者向け住宅の実施状況

入居者の属性、居宅サービスや協力医療機関との連携状況、受入可能な要介護度や医療の必要性等についての実態調査。

② 定期巡回・随時対応サービスの実施状況

市町村毎の整備状況、要介護度や認知症自立度などの利用者像とサービス内容、オペレーターの資格要件と対応状況等についての実態調査。

③ 複合型サービスの実施状況

市町村毎の整備状況、要介護度や認知症自立度などの利用者像とサービス内容等についての実態調査。

④ 集合住宅における訪問系サービスの提供状況

集合住宅の介護保険サービスの併設状況、調査対象住宅に居住する要介護高齢者数、当該利用者を担当する指定居宅介護事業所数等についての実態調査。

⑤ 介護老人保健施設の在宅復帰支援機能の検証

在宅復帰支援機能の高い基本サービス費、在宅復帰支援機能加算を算定している施設の具体的な取組みや退所後に利用しているサービス内容、周辺環境等の実態把握と在宅復帰機能を高める要素について実態調査。

⑥ 短期入所生活介護等における緊急時のサービスの提供状況

緊急短期入所体制確保加算、緊急短期入所受入加算等の算定状況、緊急時の状況、緊急利用者受入促進のための方策等について検証。

【平成25年度調査実施】

① 20分未満の身体介護の提供状況

サービスの利用実態、利用時間帯別の具体的なサービス内容について実態調査。定期巡回・随時対応サービスの実施状態と併せて検証。

② リハビリ職と介護職との連携の実施状況

リハビリ職と介護職との連携を評価した生活機能向上連携加算について、具体的な取組みと課題について実態調査。

(2) 調査研究

【平成24年度調査実施】

① 要支援者の状態像と介護予防サービスの提供に関する実態調査

要支援者の状態像として、ADL、IADL、認知機能、疾病の状況、生活環境について、また、サービスの提供実態として、具体的なサービス内容、提供時間等について実態調査。

② 認知症に対して現在実施されているサービスの実態調査

要介護度に応じたグループホーム等でのサービス提供の実態等、利用者の状態の評価とふさわしいケア内容について実態調査。

③ 介護事業所、介護施設における医師、看護師が担っている役割の実態調査

通所介護等の介護事業所や介護老人福祉施設、介護老人保健施設等の施設における医療職の勤務実態、医療・看護の提供状況について実態調査。

④ 生活期において実施されているリハビリテーションの実態調査

生活期リハビリテーションの具体的内容、通所リハビリテーション、通所介護における自立支援に係るサービス提供の実態、リハビリテーション・機能訓練のアウトカムの評価方法について検証。

※ ケアマネジメント、ケアプランについては、「ケアマネジャーの資質向上と今後の在り方に関する検討会」等で検討する。

4 検証・研究の進め方

平成 24 年 4 月 26 日

- ・平成 24 年度介護報酬改定の結果検証に関する調査項目について議論。

平成 25 年 3 月 目途

- ・平成 24 年度に実施された調査研究についての報告と議論。
- ・平成 25 年度の調査内容についての検討。